

授業展開例（福祉・社会福祉基礎）

1 校種・学年 高等学校・第2学年

2 単元（題材）名 自立生活支援と社会福祉

3 単元（題材）について

単元（題材）観

本単元では社会福祉の理念が、経済的救済から自立生活支援へと変化してきたことを取り上げ、多様な自立生活を支える基本的な社会福祉サービスの考え方について理解させることが必要である。本単元において自立生活支援の視点を確実に身に付けさせることで、今後の学習において的確に社会福祉に関する諸課題を発見し、解決の方法を考えることのできる能力と態度を育成することがねらいである。

生徒観 省略

指導観

指導にあたっては、生徒が自立生活支援にかかわる基礎的・基本的な知識を活用し、主体的に問題を解決しようとする能力と態度を育てていきたい。そのために、発問の工夫やグループ討議などを取り入れ、適切な事例となりうる新聞の記事等を活用するなど、自立生活支援について総合的、体験的に学習活動に取り組むことができるような工夫を図りたい。また、生徒自ら積極的に考え、かつ個人の意見がグループ討議において十分に深まるような学習活動の工夫としてラベルワークやポスターセッション等の手法を取り入れていきたい。

4 単元（題材）の目標

- ・自立生活支援と社会福祉について理解し、それらの抱える課題について意欲的に追究する態度を身に付ける。
- ・自立生活支援と社会福祉について多角的・多面的に考察し、それらの結果についてプレゼンテーションすることができる。

【人権教育の視点】

- ・社会福祉の分野における人権を守るための制度等についての理解を深める。
- ・自他の価値を尊重しようとする意欲や態度を育てる。
- ・能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能を育てる。

5 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・自立生活支援と社会福祉について意欲的に追究する態度を身に付けている。	・自立生活支援と社会福祉について自ら思考を深め，多面的・多角的に考察している。	・自立生活支援と社会福祉に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用できる。 ・自立生活支援と社会福祉にかかわる課題について考察した過程や結果をまとめ，図表化したり，発表や討論したりしている。	・自立生活支援と社会福祉に関わる概要や現状を理解している。

6 指導と評価の計画（全 11 時間）

次	学習内容（時数）	評価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	自立って何だろう？（1）					・自立の概念に興味関心を持っている。 ・自立の概念について考察している。	作成物 授業観察
2	自立って何だろう？（2）					・自立の概念についてお互いの意見を交換し合い，さらに思考を深めている。 ・自立の概念について考察し，結果をまとめ，発表している。	ワークシート 授業観察
3	自立と自立生活支援（2）					・自立や自立生活支援の定義と歴史について興味関心を持っている。 ・自立や自立生活支援の定義と歴史について理解している。	ワークシート 授業観察
4	自立生活を支えるさまざまな社会福祉サービス（2）					・自立生活を支えるさまざまな社会福祉サービスについて興味・関心を持っている。 ・自立生活を支えるさまざまな社会福祉サービスについて理解している。	ワークシート 授業観察
5	自立生活支援プロジェクトを考えよう！（2）					・障害者の自立生活を支援している様々な取組について興味関心を持っている。 ・障害者の自立生活支援に関わる様々な課題について理解している。	ワークシート 授業観察

次	学習内容（時数）	評価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
6	自立生活支援プロジェクトを発売しよう！（2） 【本時 2/2 時間目】					<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の自立生活を実現するために社会が支援できることについて考察している。 ・ 障害者の自立生活を実現するために社会が支援できることについて考察した結果を発売し、互いの意見を深めることができる。 	作成物 ワークシート 授業観察

7 本時の展開

（1）本時の目標

- ・ 障害者の自立生活を実現するために社会が支援できることについて考察した結果について発表し、互いの意見を深めることができる。

（2）観点別評価規準

- ・ 障害者の自立生活を実現するために社会が支援できることについて考察した結果を発表している。
- ・ 障害者の自立生活を実現するために社会が支援できることについて互いの意見を深め合っている。

（3）準備物

ワークシート，液晶プロジェクター，パソコン，ホワイトボード

（4）学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
導入	本時の学習内容の確認をする。	前時までに考察・立案した「自立生活支援プロジェクト」をポスターセッション形式でプレゼンテーションすることを確認させる。		

<p>展開</p>	<p>プレゼンテーションに関わる諸注意を確認する。</p> <p>考察・立案した結果を各グループ毎にポスターセッション形式によって4分間プレゼンテーションする。</p>	<p>プレゼンテーションに関わる諸注意として下記の点について指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループのプレゼンテーション時間は質疑応答を含めて4分。4分経過したら、隣のグループへ移動する。 ・発表者は、原稿をよむだけではなく、聞き手を見て発表を行う。 ・各グループ、前半にプレゼンテーションを行う人と後半にプレゼンテーションを行う人の役割分担をする。 ・聞き手は「傾聴のスキル」を意識した聴き方をし、プレゼンテーションを聴き終えてから質問をする。 ・プレゼンテーション内容は指定のワークシートに記入する。 ・ <p>4分間のプレゼンテーション時間を意識させるためタイマーで計時する。相手を尊重した聴き方、質問の仕方に留意させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の自立生活を実現するために社会が支援できることについて考察した結果を発表し、互いの意見を深めている。 ・障害者の自立生活を実現するために社会が支援できることについて考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・作成物（模造紙によるプレゼンテーション資料） ・授業観察
<p>まとめ</p>	<p>ワークシートを記入する。</p> <p>ワークシートをもとに、ペアワークを行い、各グループのプレゼンテーション内容について、感想や意見を述べ合う。</p> <p>本時の学習内容を振り返る。</p>	<p>自分と異なる意見や感想に対しても、共感的な聴き方をしよう指導する。</p> <p>本時の学習内容を振り返らせ、授業中での学びだけでなく、学んだことを日常生活において実践することが大切であることを指導する。</p> <p>発表の仕方や聴き方において、よかった点を評価する。</p>		

【ワークシート】

ポスターセッション感想

()グループ
【キーワード(方策)】

【参考にしたい支援策】

【感想】

説明のわかりやすさ
説明時の誠実さ
(服装・態度など)
支援策の内容

()グループ
【キーワード(方策)】

【参考にしたい支援策】

【感想】

説明のわかりやすさ
説明時の誠実さ
(服装・態度など)
支援策の内容

()グループ
【キーワード(方策)】

【参考にしたい支援策】

【感想】

説明のわかりやすさ
説明時の誠実さ
(服装・態度など)
支援策の内容

全体を通しての感想